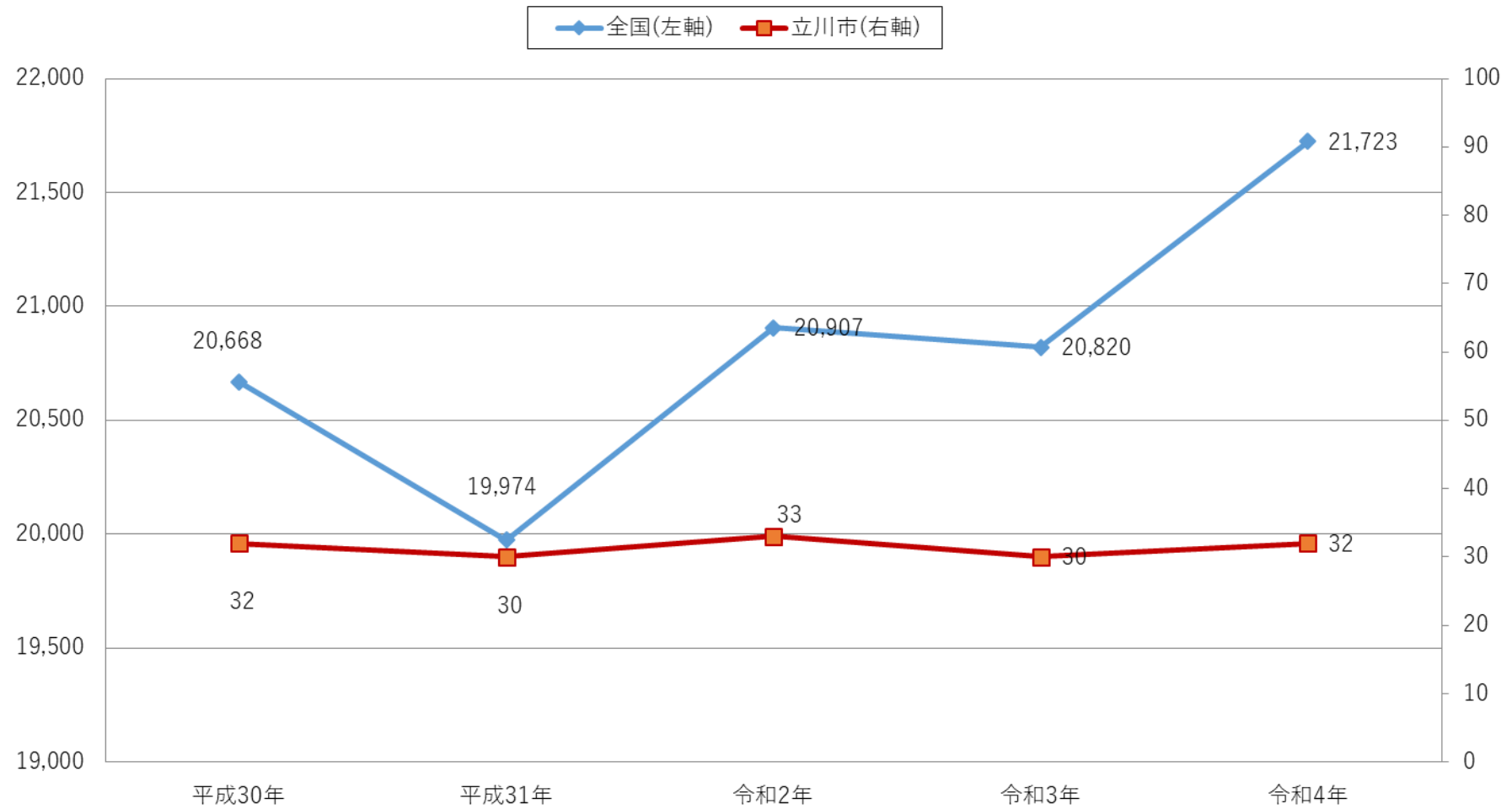
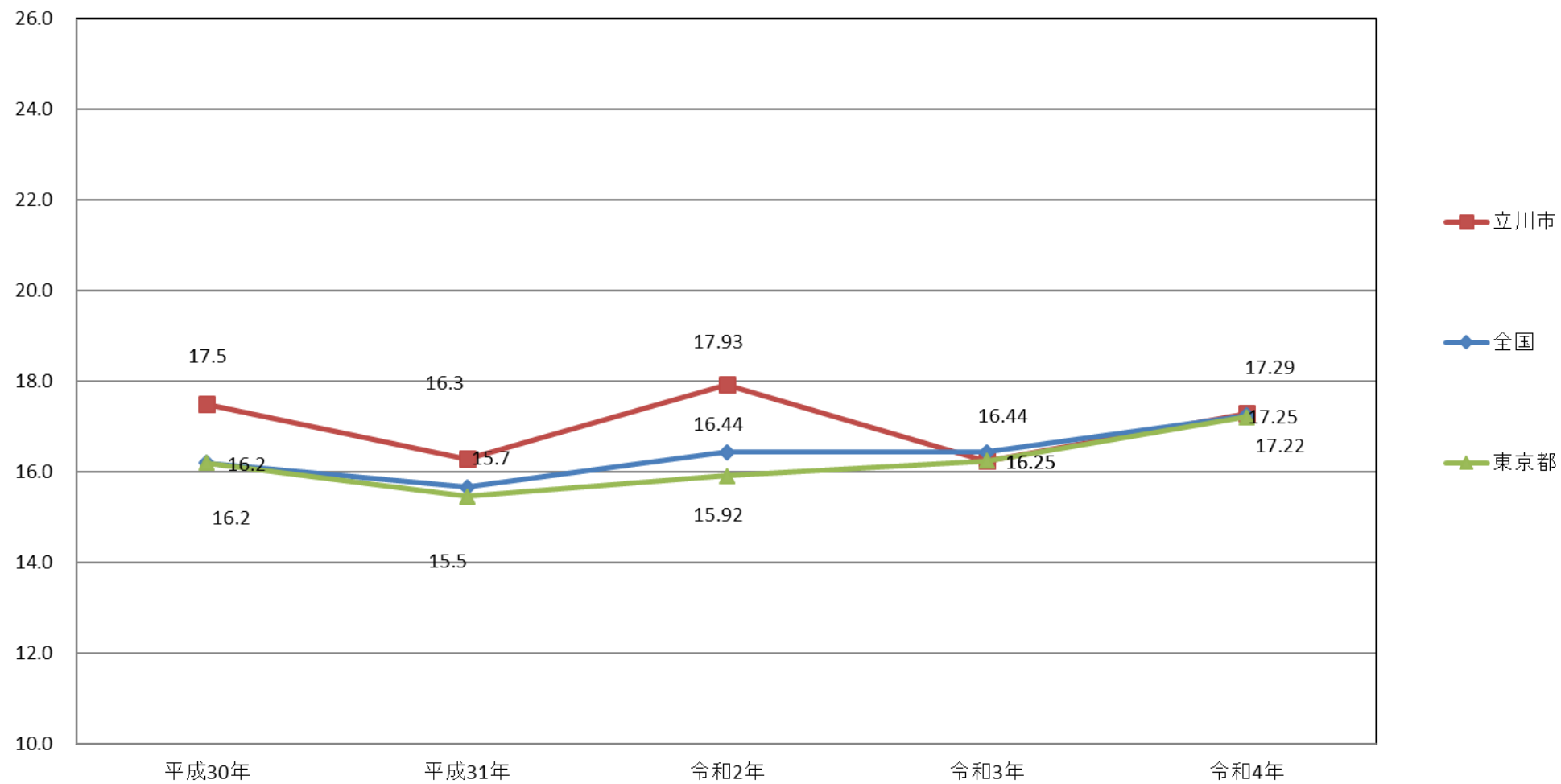


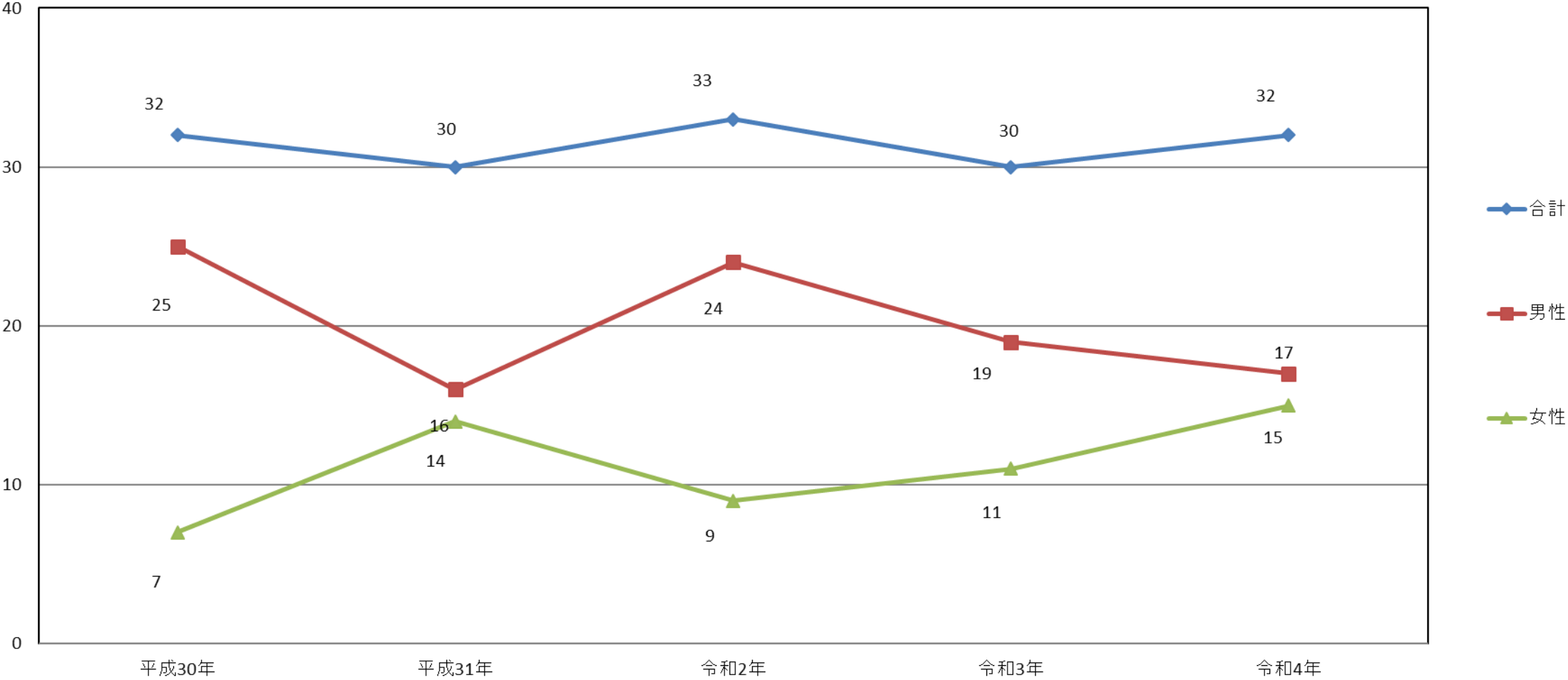
自殺者数の年次推移（全国・立川市）



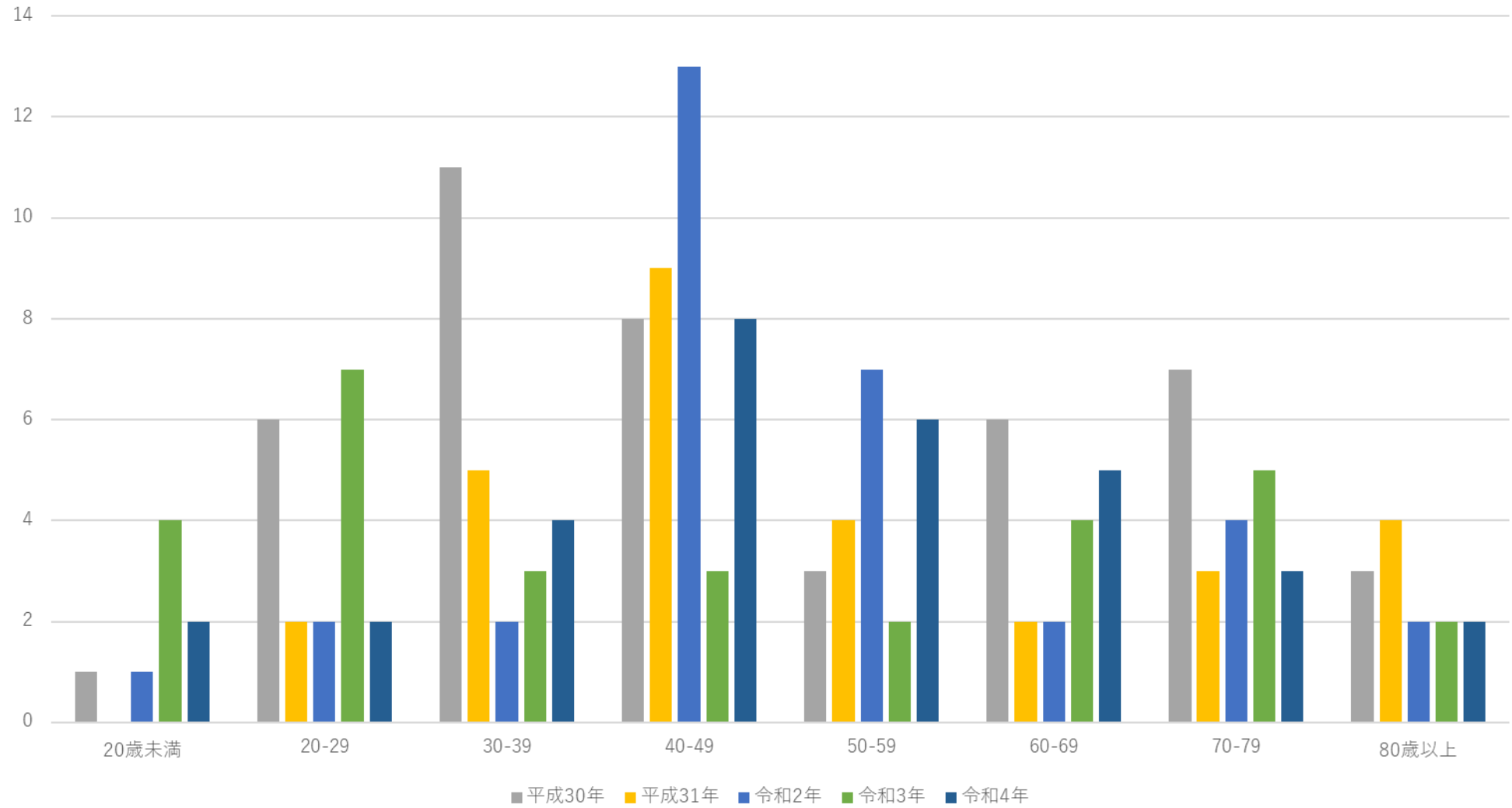
自殺死亡率の年次推移（全国・東京都・立川市）



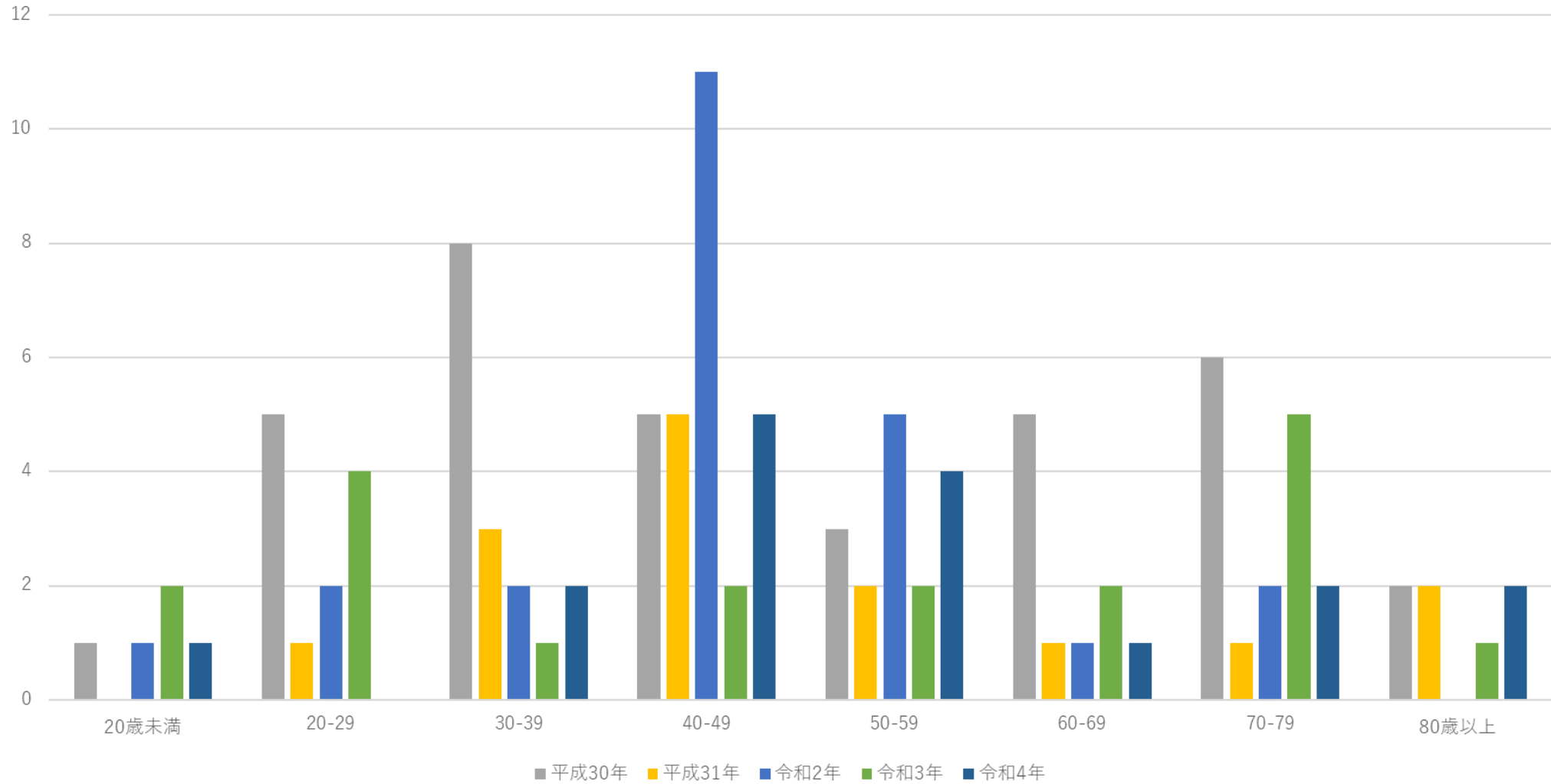
男女別の自殺者数の年次推移（立川市）



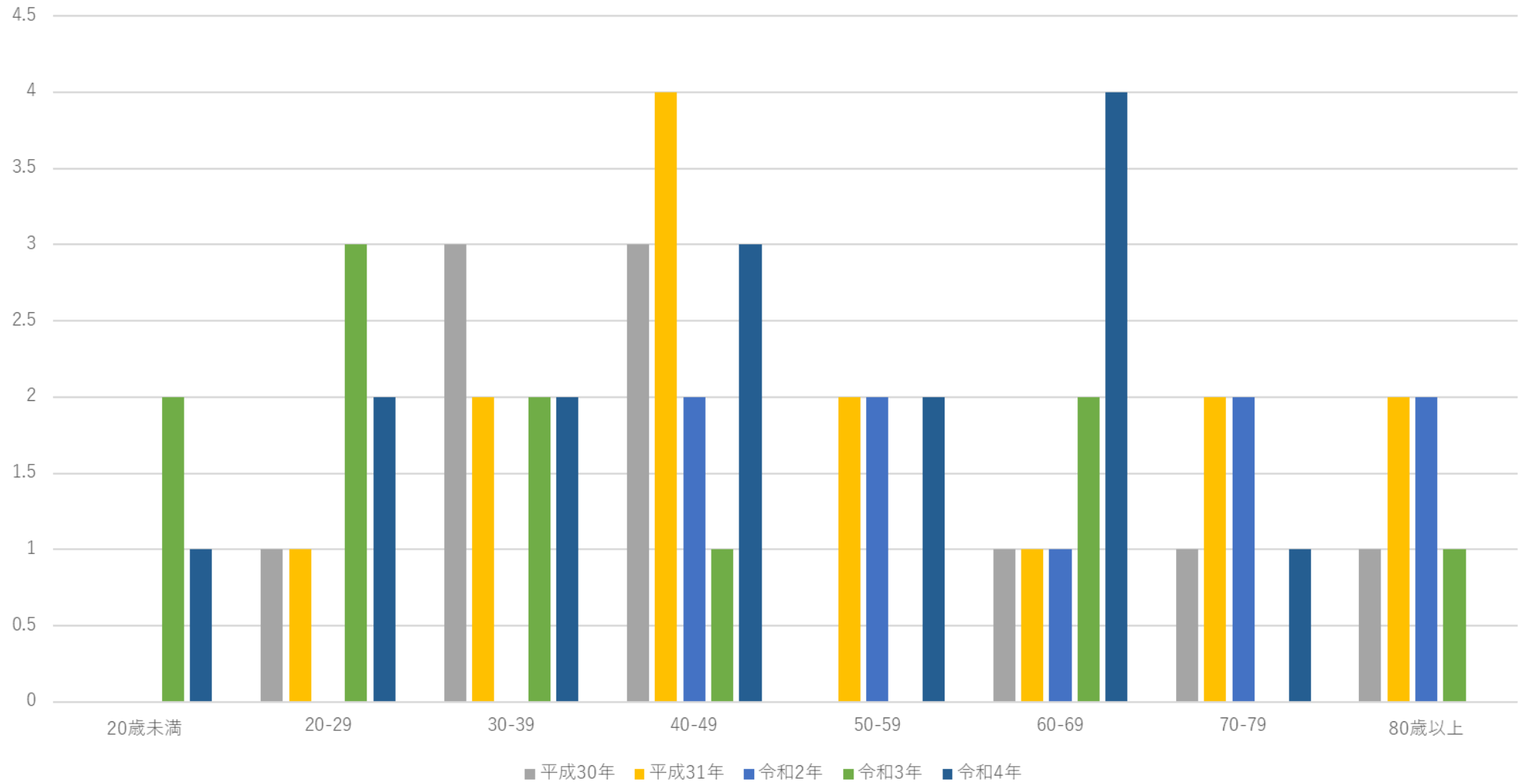
# 年代別自殺者数



年代別自殺者数（男性）



年代別自殺者数（女性）



東京都立川市（住居地）の2017～2021年の自殺者数は合計166人（男性112人、女性54人）であった（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」（自殺日・住居地）より集計）。

地域の主な自殺者の特徴（2017～2021年合計）〔公表可能〕 < 特別集計（自殺日・住居地） >

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性60歳以上無職同居	18	10.8%	34.8	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）+身体疾患→自殺
2位:男性40～59歳有職同居	13	7.8%	13.6	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位:女性60歳以上無職同居	12	7.2%	14.4	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位:男性20～39歳無職同居	11	6.6%	77.8	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺／②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
5位:男性40～59歳有職独居	9	5.4%	27.8	配置転換（昇進/降格含む）→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計

・区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

\* 自殺死亡率の算出に用いた人口（母数）は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基にJSCPにて推計したもの。

\*\* 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書2013」を参考に推定したもの（詳細は付表の参考表1参照）。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい。

参考表 1 生活状況別にみた背景にある主な自殺の危機経路（例）

女性	20～39歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	① 非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ② 仕事の悩み→うつ状態→休職/復職の悩み→自殺
		無職	同居	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	① 【30代その他無職】失業→生活苦+うつ状態→孤立→自殺 ② 【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗+うつ状態→自殺
	40～59歳	有職	同居	職場の人間関係+家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60歳以上	有職	同居	介護疲れ+家族間の不和→身体疾患+うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

・背景にある主な自殺の危機経路はライフリンク「自殺実態白書2013」を参考にしている。自殺者の生活状況別に見て代表的と考えられる経路の一例であり、記載の経路が唯一ではないことに留意。



付表1 地域の自殺の概要（グラフの元データ）  
 自殺者の割合と自殺死亡率（人口10万対）（2017～2021年合計）〔公表可能〕

性別	年齢階級	職業	同独居	自殺者数	順位	割合	自殺死亡率 (10万対)	推定 人口*	全国 割合	全国 自殺死亡 率
男性	20～39歳	有職者	同居	8	8	4.8%	14.5	11009.6	6.0%	15.9
			独居	7	12	4.2%	18.6	7547.1	3.9%	28.2
		無職者	同居	11	4	6.6%	77.8	2828.4	4.2%	52.4
			独居	4	15	2.4%	72.5	1103.9	2.1%	89.0
	40～59歳	有職者	同居	13	2	7.8%	13.6	19063.5	10.0%	16.1
			独居	9	5	5.4%	27.8	6472.1	4.5%	34.8
		無職者	同居	7	9	4.2%	92.3	1517.5	4.6%	97.0
			独居	8	7	4.8%	153.4	1042.9	4.1%	237.0
	60歳以上	有職者	同居	5	14	3.0%	12.4	8059.7	4.0%	12.4
			独居	2	19	1.2%	19.8	2015.8	1.6%	30.2
		無職者	同居	18	1	10.8%	34.8	10353.3	11.6%	28.4
			独居	7	10	4.2%	40.4	3466.2	7.3%	83.2
女性	20～39歳	有職者	同居	3	17	1.8%	6.6	9,115.0	1.8%	6.0
			独居	0	23	0.0%	0.0	4,307.5	1.0%	11.6
		無職者	同居	7	11	4.2%	22.3	6,285.0	2.9%	15.9
			独居	2	18	1.2%	25.9	1,545.5	0.9%	33.4
	40～59歳	有職者	同居	2	21	1.2%	3.5	11,509.4	2.4%	5.9
			独居	2	20	1.2%	18.8	2,124.9	0.6%	12.2
		無職者	同居	6	13	3.6%	11.2	10,695.6	5.1%	16.3
			独居	4	16	2.4%	51.4	1,555.1	1.4%	43.3
	60歳以上	有職者	同居	1	22	0.6%	6.7	2,993.0	0.8%	5.6
			独居	0	23	0.0%	0.0	1,153.6	0.2%	7.4
		無職者	同居	12	3	7.2%	14.4	16,703.0	8.7%	12.8
			独居	9	6	5.4%	22.7	7,934.4	4.1%	20.4

資料：自殺者数は警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計

\* 各区分の自殺死亡率の母数とした推定人口については、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を用い、労働力状態が「不詳」の人口を有職者と無職者（労働力人口のうち「家事のほか仕事」、「学業のかたわら仕事」と失業者および非労働力人口の合計）に按分した。

・本表中には20歳未満および年齢、職業、同独居の不詳19人を含まない。